

## 不登校生徒に対する支援と校内体制の強化について

### 【目黒区立 A 中学校の取組】

#### 不登校生徒の状況

対象生徒は、学力不振や友人関係の悩みから学校生活に不安を抱えている生徒が中心である。

#### 具体的な取組

##### 1 ハートフル・ウィークの実施

全校生徒がスクールカウンセラー等を含む全職員の中から相談相手を指名し、生徒自身の趣味などの話題等で会話の時間をもち、人間関係を深め、より良い学校生活を築く機会の一つになることを目的として実施しているものである。教職員にとって生徒理解につながる機会になるとともに、生徒自身にとっても充実した学校生活を送るきっかけになっている。



##### 2 生徒が安心して過ごせる場の確保

不登校生徒がスムーズに教室に入ることができるよう、段階的に安心して過ごせる学校内外の場所の確保に努めている。個々の生徒の状況に応じて、校内の相談室や保健室、校外の学習支援教室への通級の機会をつくり、学校から気持ち離れないよう工夫している。

##### 3 外部機関との連携

それぞれのケースに応じて、子ども家庭支援センターや児童相談所とも連携し、保護者の支援にも力を入れている。

##### 4 担任やスクールカウンセラーによる面談や家庭訪問の実施

生徒や保護者を追い詰めることがないように必要に応じて面談や家庭訪問を実施し、中・長期的な視点で生徒理解に努めている。

#### 成果

以上のような取り組みを通して、14名の不登校生徒の中で、昨年度欠席率が80%以上であった2名の生徒は、欠席率が50~60%台に減少し、改善が見られた。また、昨年度まで不登校であった1名の生徒は、本校に入学して通常に登校できるまでに改善している。

#### 課題

今年度の不登校生徒の85%は、根本的な不登校原因の改善まで至らず、長期的に今後も支援が必要である。